

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 18 日

事務事業名		健康診査・がん検診事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010202000334
		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助		040401
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進				主要事業		所属課	健康推進課
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				市長マニフェスト			
	施策名	02 健康づくりの推進				未来PJ事業		グループ	健康づくり
	手段名	02 ②特定健診やがん検診の充実				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計			
	01	04	01	02	02 00	保健事業			
法令根拠						単年度繰返し (昭和58年度~)			
					← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市民の健康寿命の延伸を目指し、生活習慣病の予防及び疾病の早期発見・早期治療を目的に各種健診を実施する。</p> <p>健診項目：がん検診 (胃がん・大腸がん・前立腺がん、乳がん・子宮がん、肝炎ウイルス検査)、結核健診、生活習慣病予防健診、骨粗しょう症健診</p> <p>検査方法：市施設における集団検診と医療機関検診を実施。すべての集団検診は(公財)茨城県総合健診協会に、医療機関検診は東西総合病院、レディース健診はつくば総合健診センター(筑波メディカルセンター)にも委託。</p> <p>精度管理：検診結果を区分ごとに分類し、必要に応じ保健指導を実施。要精密検査をなした者については、受診勧奨を実施。</p>	<p>がん検診推進事業補助金、健康増進事業に係る感染症予防事業費補助金、茨城県市町村がん検診受診率向上事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診日程、会場の調整及び医療機関との調整・契約 健診対象者の抽出と受診券発送 (がん検診推進事業においてはクーポン券交付) 会場準備、当日受付 健診結果発送、要精密検査者への医療機関受診勧奨 実績報告

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 健診日程や会場を調整し、健診機会を確保 対象者への個別通知票による受診勧奨 会場準備、当日の受付、個人負担金の徴収 検診結果の発送・要精密者への医療機関受診勧奨 実績報告 	健診日、検体回収日数 (集団)	日	69.00	65.00	66.00	66.00	0.00
	受診券発送数	通	0.00	10,953.00	16,298.00	13,000.00	0.00
	委託医療機関数 (実)	件	3.00	5.00	6.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
胃・大腸・肺がん検診、肝炎検査：40歳以上、前立腺がん検診：50歳以上男性、レディース健診：20歳以上、骨粗鬆症：40~70歳 (節目) 女性	40歳~89歳の人口	人	27,013.00	26,833.00	26,800.00	26,800.00	0.00
	20歳~39歳の人口	人	9,114.00	8,712.00	8,700.00	8,700.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
自分の健康は自分で守るという意識を高め、健診受診習慣の獲得および、健診受診による疾病の早期発見・早期治療につなげる。	がん受診者数 (延べ)	人	16,380.00	16,559.00	16,000.00	16,000.00	0.00
	がん検診要精密者数 (延べ)	人	682.00	801.00	800.00	800.00	0.00
	精密検査受診率	%	86.51	72.28	82.00	85.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	106	144	135	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	1,745	1,800	3,344	
			地方債	千円	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	
			その他	千円	7,390	3,101	3,376	
			一般財源	千円	38,006	43,114	50,192	
	事業費計 (A)	千円	47,247	48,159	57,047	0		
人件費	正規職員従事人数	人	16.00人	14.00人	12.00人			
	述べ業務時間	時間	2,431.00	2,400.00	2,400.00			
	人件費計 (B)	千円	7,111	7,020	7,020			
トータルコスト (A) + (B)			千円	54,358	55,179	64,067		

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
	11 需用費	13		11 需用費	19	
	12 役務費	223		12 役務費	743	
	13 委託料	47,923		13 委託料	56,285	
	合計		48,159	合計		57,047

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 			

事務事業名	健康診査・がん検診事業	事務事業No.	10202000334	所属課	健康推進課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
がんを早期に見出し治療することにより、がんによる死亡者の減少および医療費を削減する。乳・子宮がん検診においては、がん発症の多い年齢の女性に対して無料クーポン券を発行し、受診につなげる「女性特有のがん検診推進事業」が平成21年度に開始。平成23年度からは「働く世代への大腸がん検診推進事業」が新規で加わる。H28より無料クーポン配布は乳がん・子宮がん検診に限定され、「新たなステージに入ったがん検診総合支援事業」に名称変更。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
該当年齢以外の方から受診の要望がある。 医療機関で受診したいという要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	受診率が低いことが課題である。その解決策として、乳がん・子宮頸がん検診無料クーポン券の配布のほか、次年度より胃がん・肺がん・大腸がん検診等を無料で受診できるクーポン券を新40歳に配布する。 また、乳がん・子宮頸がん検診の医療機関検診について、つくば総合健診センター（筑波メディカルセンター）を追加し、受診機会を拡充する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	総合計画で掲げる「健康づくりの推進」に結びつく事業であり、疾病の早期発見の為、受診しやすい体制整備につとめている。 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	健康増進法に基づく事業であり行政介入は妥当である。疾病の早期発見・早期治療により医療費削減を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	受診者数やクーポン券の利用率が減少している。受診率向上として、PR活動（HP、広報活用、健康推進員の活用）、検診日程の検討や医療機関受診の拡充を行い、受診しやすい環境づくりを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	疾病の発見が遅れることで医療費が高額となり、市民の医療費負担の増加が考えられる。また、結核の早期発見・治療が遅れることにより、周囲への感染拡大の可能性がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	疾病の早期発見・早期治療が遅れることは、市民の生活の質を低下させることとなる。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	業務時間については、受診票発送業務や健診受付業務等の業務委託が可能である。 しかし、事業費については、健診委託料と役務費のみである。国保と連携を図り郵便料も市内特別割引を適用したりと削減余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	健康カレンダー、広報、HP、他の事業を通じて周知。申し込みも随時受付。対象者には個別通知をしている。受診者の利便性を考慮し、どの地区でも受診可能としたり医療機関健診を実施するなど機会を確保し公平である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	受診者数および受診率は減少傾向にあり、受診者数の増加と受診率の向上を図る取り組みを検討していく必要がある。 40歳を対象に、胃がん・肺がん・大腸がん検診を無料でできるクーポン券を配布した。子宮頸がん・乳がん検診とあわせて、各クーポン利用率を高める取り組みと、若い世代のがん検診受診率の経過を確認していく必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
受診率の向上に向けて ・50代の過去3年間胃がん検診未受診者を対象に、胃がん検診無料クーポンを配布、受診の動機づけとする。 ・申し込みの形式に関わらず、40歳以上の申込者・受診勧奨対象者には大腸がん検診の容器を同封し、動機づけとする。 ・30歳、35歳、39歳、61歳の方全員に受診票を送付し、検診受診の動機づけとする。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>